

姫路民主商工会新年会に136人参加

日本共産党
姫路市議団

大脇・谷川・森・入江の各市議が出席



左から谷川・大脇市議、杉本県議、森・入江市議、金田氏

大企業優先の政治から中小業者重視の政治を 日本共産党の躍進で消費税増税を許すな

姫路民主商工会の平成20年新年会が1月6日、姫路キャッスルホテルでおこなわれ約136名が参加しました。

新年会は新春らしく、利根氏の琴でオープニング、はじめに平山

裕康会長が「4000名民商めざし3年目ですが今年は飛躍の年にしたいと思います。若さと元気を生み出す『かきくけこ』、感動、興味、工夫、健康、恋のようなどきめく心を大事にし、5月に神戸



嶋田福崎町長

で開催される全商連総会成功めざし笑顔で頑張らしましょう」と開会あいさつを行いました。

援、まことにありがとうございます。引き続き中小業者のみなさんのため奮闘いたします。

各来賓が紹介され日本共産党から杉本ささと県議、大脇・谷川・森・入江の各市議、金田みねお衆院比例代表予定候補が壇上に上がり代表して杉本県議が挨拶しました。



金田氏

平山会長

来賓の挨拶で、嶋田正義福崎町長は「町政を運営する上で哲学、経済、歴史の課題をよく勉強することを強調しています。自民党政治が行き詰まっているからこそ夜明けは近い、ともに頑張らしましょう」と述べました。

産党に大きなご支援を」と訴えました。

杉本県議が紹介され、壇上から

新年会では中田実行委員長の乾杯の音頭で一部を終了し二部では引き続き、お琴や尺八の演奏で和やかに歓談しました。

公約実現めざしてがんばります

市議員
大脇和代

市議員
谷川まゆみ

市議員
森ゆき子

市議員
入江次郎

日本共産党市議団が33項目の市長重点要望

谷川市議が国労団結旗びらきであいさつ



日本共産党市議団の大脇和代、谷川まゆみ、森ゆき子、入江次郎の各市議は1月8日、石見利勝市長に対する市議団の重点要望を行いました。市議団は33項目の重点要望をおこない、当局からは石見市長はじめ両副市长、教育長以下、幹部が対応しヒアリングをおこないました。



国鉄闘争勝利・安全安心の鉄道づくり 国労西運輸・乗務員分会合同旗びらき

国鉄労働組合兵庫西運輸・乗務員分会の合同

団結旗開きが1月9日、姫路労働会館で開催され約30名が参加しました。

旗開きは「国鉄闘争勝利・組織強化・拡大・安全・安心の鉄

道づくり、春闘勝利めざしガンバロー」をスローガンに開催されました。日本共産党から来賓として谷川まゆみ市議が出席し、姫路駅周辺のまちづくりで「姫路駅・ビル建設に市民や専門家の意見が反映されるようJRに働きかける上で労働組合の皆さんも、お力をお貸しください」と訴えました。また、杉本ちさと市議のメッセージが披露・代読されました。

高齢者や社会的弱者いじめの県行革やめよ 県行革強行されるなら市独自の負担を行え



入江次郎議員

総務委員会

現行制度維持を県に求めよ

臨時職員賃金の抜本的引き上げを

昨年12月7日開催された総務委員会でも入江次郎議員は本会議質疑を深める立場から企画財政局を質しました。

県行革強行されるなら市独自の負担を行え

国鉄闘争勝利・安全安心の鉄道づくり

また総務局に対し、神戸新聞で県内自治体の非正規労働者の実態調査が報道されたことに対し「対象となる26市町のうち半数が時給800円台。県内民間パート時給は1000円(厚労省調べ)」と同

水準はわずか2市町であり民間と比較しても自治体の非正規労働者は極めて低賃金で雇用されている。市の臨時職員の賃金は県の最低賃金697円ぎりぎりの700円です。地公法では臨時職員の賃金は民間他都市の自治体と比較して決定されることになっていま

「石田企画財政局長答弁」新聞報道で「市独自の負担なし」と報道されたが、現段階では考えていないということであり、今後、県には現行制度維持をあらゆる機会を捉え働きかけていく。

追及しました。